

特別養護老人ホーム晃風園ぬくもり

運営推進会議 会議録

■ 日 時：令和4年9月28日（水）15：00～16：00

■ 場 所：晃風園ぬくもり1階ピロティー

■ 出欠の状況：運営推進会議構成員（5名出席）

深見大和地区社会福祉協議会顧問

深見大和地区民生委員児童委員協議会委員

島津自治会長

あゆみの会会員

大和市健康福祉部介護保険課事業者指導担当

施設職員（2名）

三 河 幸 司（管理者）

田 邊 利 保（書記）

■ 運営推進会議の概要

新型コロナウイルス感染予防のため、前回に引き続き会議場所を変更して開催

1 会議の開会

- ・ 定刻になり会議を開会
- ・ 三河管理者が議長となり会議を進行

2 議 題

（1）行事の報告及び予定

○三河管理者が報告。

- ・ 7月28日、8月25日、ぬくもり喫茶を開催。基本は1階地域交流室でフロアごとに開催するが、接触を避けるため各ユニットで開催
- ・ 8月31日、南大和病院の協力でご利用者と職員が新型コロナワクチン4回目の接種を行った。職員は半数が個々に自己接種
- ・ 9月5日から9日、9月12日から16日、東海大学看護学科の3名の学生が実習で来園。食事介助を中心に実施
- ・ 9月6日、1階地域交流室で21名のご利用者が散髪、
- ・ 9月19日、敬老会 職員が二人羽織りを実演。
今年は三名の方が100歳となられ、国から敬老祝い品を頂いた。
また、白と黄色の羽織を購入し着ていただいた。
- ・ 9月22日、ぬくもり喫茶 2階のご利用者が1階の地域交流室に移動して実施
- ・ 今後の予定として10月に運動会を計画している。職員が各ユニットを回ってゲームを行う予定。

(2) 施設の近況報告

○三河管理者が別紙資料をもとに説明。

- ・稼働率は7月が長期入所 97.3%、短期入所 98.4%、8月が長期入所 96.7%、短期入所 96.5%であった。
- ・今現在、長期入所は満床となっている。短期入所10床は最近長期間の利用が増えており、定期的に利用する人が減ってきている。空き室期間が短くなり稼働率は良くなっている。
- ・7月から9月までに5名が入院した。尿路感染が多く、ウイルス性肺炎が原因。退所は2名。食事が飲み込めない事が退所の理由となっている。

(質問・意見等)

ショートステイを長期利用する理由、特養の地域入所希望者に対する対応などについて質問が出された。

(3) 新型コロナウイルスに関する対応

○三河管理者から説明。

- ・施設職員が感染し出勤できないケースでは施設ではなく家庭で感染するケースが7月から見られた。職員から利用者に感染することはなかった。
- ・飛沫感染が怖いので、換気、喋らない、マスク着用をお願いしている。
- ・職員・利用者は日々の健康チェックを行い風邪症状についても注意している。
- ・この状況下でも小さなイベントは行っている。
- ・地域と共にあるとの意識が薄れている。地域との関わりを増やしていくことは大事

(質問・意見等)

ぬくもり喫茶は地域の人にも気にしているので出来ればオープンな形で地域を交えた形で出来ればと良い。利用者も楽しみが増えるので、地域を巻き込んで考えてもらえればとの意見あり。また農園についてはさつま芋掘りが出来ればとの意見も出された。

(4) 晃風園40周年記念事業

○三河管理者から説明。

- ・晃風園40周年記念事業として記念誌を作成する。関係者、地域の人に見てもらえるようなものになっている。
- ・晃風園のロゴを変更し、今年中に新しいデザインを作成して使用していく。
- ・本部特養が大規模修繕を行う。

(5) その他

特になし

(会議全体を通しての質問・意見等)

新型コロナの感染症対策、運営推進会議書面実施の意見書の情報提供、グループホームとの合同開催、40周年記念事業について質問、意見が出され情報交換を行った。

4 閉 会

次回会議の日程の確認と出席をお願いして閉会。